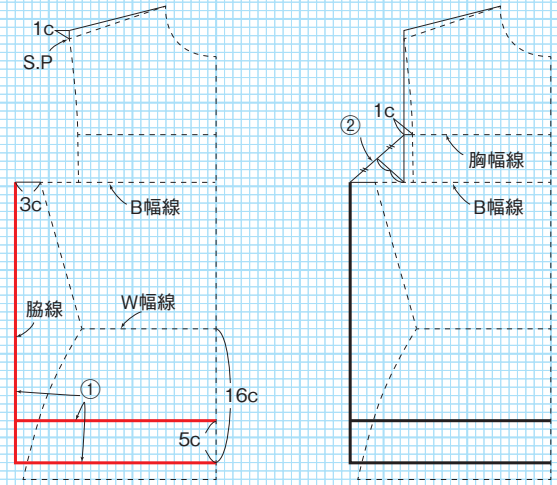


9

後ろ衿ぐりは8で求めた案内線に沿って、後ろ中心線から1/2くらいまではまっすぐに、そのあとはゆるやかなカーブで書きます。

10

後ろ中心線を書いてできあがりです。後ろ衿ぐり寸法と後ろ身頃製図A.H(アームホール)寸法を測り、記入しておきます。

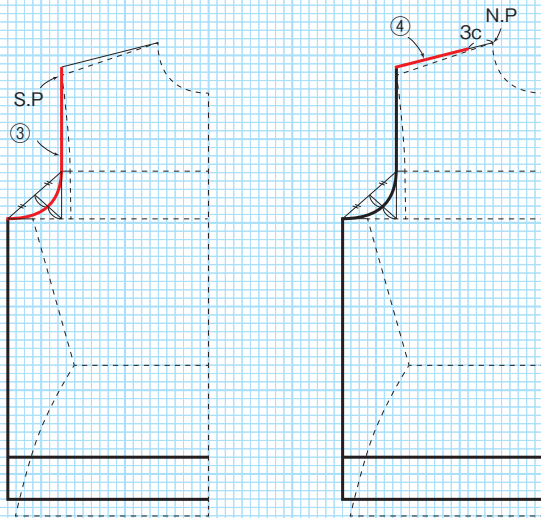


1

着丈、B幅線のゆるみ、裾のゴム編み丈、肩の案内線は後ろと同様に書きます。

2

袖ぐりカーブを書きます。胸幅線に1cmのゆるみを入れ、S.PからB幅線まで案内線をまっすぐ引き、胸幅線に1cmゆるみを入れたところと、身幅を案内線で結び、2等分し、さらにB幅線の交点と結び2等分します。

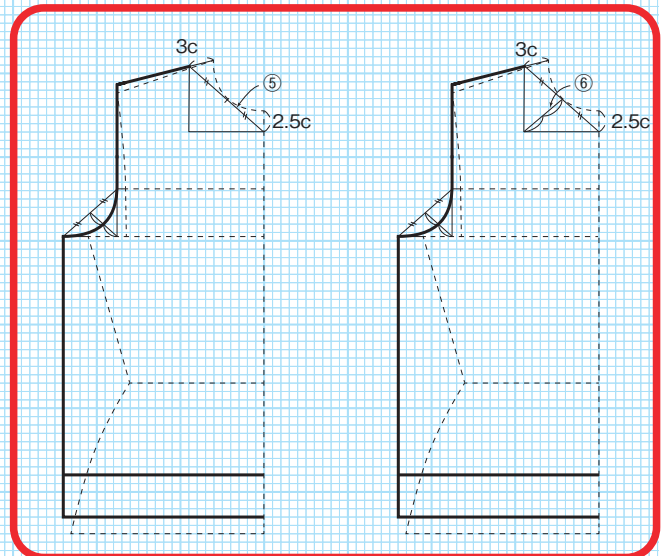


3

2で求めた中心を通るように肩先から胸幅線に1cmゆるみを入れたところまではまっすぐ、続いて身幅まで自然なカーブで結びます。(規定の袖ぐりカーブ)

4

前衿肩あきをN.Pから3cmオフして肩先まで肩線を書きます。



製図の記載位置を1~4に合わせました。

5

前衿下がり原型線から2.5cm下げ、衿肩あきと前衿下がりからの案内線を引きます。前衿下がり衿肩あきを案内線で結び2等分し中心を求めます。

6

その中心と案内線の交点を結んでさらに2等分します。